

平成 26・27 年度

タブレット端末を活用した ICT 教育モデル事業

報告書

・平成 28 年 4 月  
文京区教育センター

## 目次

1	事業の概要	1
2	事業の成果	3
	(1) 通常の学級	
	(2) 特別支援学級	
3	タブレット端末を活用した教育の評価	4
	(1) 通常の学級の児童・生徒の意識	
	(2) 特別支援学級の児童・生徒の意識	
	(3) 教員の意識	
	(4) その他	
4	今後の方向性	6
	(1) 配置の順位	
	(2) タブレット端末の配置台数	
	(3) 教員のICT機器活用能力向上のために	
	(4) 各校におけるICT支援員の効果的な活用	
5	まとめ	8
6	資料編	9
	(1) 活用事例	
	(2) 研究発表会・研究報告会	
	(3) アンケート集計表	
	(4) タブレット端末を活用したICT教育モデル事業実施要項	
	(5) アンケート様式	

# 1 事業の概要

## 文京区教育振興基本計画

視点1 学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成  
(1) 確かな学力の定着

**【今後の方向性】**  
今後の高度情報化社会や科学技術の進展に貢献できるよう、ICT教育や理数教育の充実を図る。

**【個別の施策】**  
児童・生徒が情報化社会に主体的に参加できるよう、情報通信機器等を活用し、情報の収集・活用能力、情報の科学的理解、情報社会に参画する態度を養う。

### タブレット端末を活用したICT教育モデル事業（平成26・27年度）

小・中学校でのタブレット端末を活用したICT教育の本格的な実施を見据えた検討

#### 事業スケジュール

##### ◇平成25年度◇

- 1月 モデル校決定
- 3月 モデル校訪問ヒアリング

通常の学級	特別支援学級
湯島小学校	林町小学校
茗台中学校	第九中学校

##### ◇平成26年度◇

- 4月 モデル校訪問ヒアリング
- 5月 タブレット端末用アプリケーションのデモンストレーション
- 6月 機器・授業支援ソフト決定  
契約業者決定
- 8月 研究実践及び成果報告方法等の決定
- 9月 タブレット端末運用開始
- 3月 モデル事業の進捗状況の確認

##### ◇平成27年度◇

- 7月 2年次事業の進め方の確認
- 12月 第2回文京区コンピュータ教育推進委員会

#### 研究の方法

##### 1 実践研究

小・中学校それぞれの通常の学級及び特別支援学級によるモデル校4校による5つの研究課題に沿った実践研究

##### <研究課題>

- ・指導事例及び成果
- ・校内体制
- ・留意点及び配慮事項
- ・技術面、設備面等の課題
- ・その他タブレット端末の活用に関すること

##### 2 調査研究（モデル校4校）

- (1) 対象：①通常の学級：第4～第6学年児童、全学年生徒  
②特別支援学級：全学年  
③タブレット端末を使用して教科等で指導する教員（講師も含む）
- (2) 方法：選択式及び自由記述によるアンケート用紙への回答
- (3) 時期：平成26年12月、平成27年6月、平成28年1月（全3回）
- (4) 項目：タブレットを使った授業について

##### 3 成果還元

- (1) 研究授業・研究協議会等の公開
- (2) 報告書の公表

文京区教育振興基本計画で示したICT教育の充実に資するため、平成26年度から2ヶ年計画でタブレット端末を活用したICT教育モデル事業を推進した。

モデル校では、5点の研究課題（表1）に沿っての実践研究を計画的・継続的に進めるとともに、研究課題に関する事例及び成果・課題等を取りまとめ、公開授業及び報告書で公表した。

また、モデル校の児童・生徒、教員等を対象に、タブレットを使った授業についてのアンケート調査を実施し、本事業の成果を検証した。

表1 研究課題

(1)	タブレット端末を効果的に活用した指導事例及び成果 ・一斉学習 ・個別学習 ・協働学習 等
(2)	タブレット端末を効果的に活用するための校内体制 ・ICT支援員の活用方法 ・校内研修・研究等の工夫 等
(3)	タブレット端末を効果的に活用するための留意点及び配慮事項 ・時間割の工夫 ・交流及び共同学習での活用 等
(4)	タブレット端末の学校導入に関する技術面、設備面等の課題 ・ネットワーク環境 ・使用ソフト・機能の活用 ・業者による不具合への対応 等
(5)	その他タブレット端末の活用に関すること

なお、モデル校は小学校・中学校それぞれの通常の学級及び特別支援学級による4校で構成した。モデル校及び各校の環境整備のための配置規模は表2の通りである。

表2 モデル校におけるタブレット端末配置数・アクセス規模等

通常の学級		特別支援学級	
湯島小学校	茗台中学校	林町小学校	第九中学校
タブレットPC分離型 (Windows8.1) 160台	タブレットPC分離型 (Windows8.1) 110台	タブレットPC (iPad Air 32GB) 30台	タブレットPC分離型 (Windows8.1) 20台
電子黒板用PC4台 電子黒板機能付プロ ジェクタ4台	タブレットPC (iPad Air32GB) 10台		
	iPad管理用 MacBookPro 1台	iPad 管理用 MacBookPro 1台	
学校支援アプリケーション (SKYMenuClass2014) 1式	学校支援アプリケーション (JustSystemキャストシ ャンフ°R5.2MS-Office) 1式	学校支援アプリケーション (SKYMenuClass2014 ) 1式	学校支援アプリケーション (SKYMenuClass2014) 1式
無線アクセス可能部 屋数16室	無線アクセス可能部 屋数22室	無線アクセス可能 部屋数5室	無線アクセス可能部 屋数4室

## 2 事業の成果

### (1) 通常の学級

- ・資料を拡大提示することで、集中力が高まると共に、生徒の興味関心が湧く。また、繰り返し見せることができ、動画や画像を示しながら説明を加えることができるため、教師の意図が明確に伝わり、生徒自らが課題をつかむことが容易になった。
- ・手書きによる文章表現や集団の中での発言、図や絵による表現に苦手意識があり消極的であった生徒も、タブレット端末を活用した表現には意欲的に取り組むことができた。自分の意見を視覚的に提示することができるので、グループや学級での発表に対し以前よりも前向きに、落ち着いて発表したり、活発な意見交換を行ったりするようになった。
- ・効果的な表現方法を積極的に調べ、図や絵、グラフを活用し、わかりやすくまとめるようとする工夫や表現技能の向上が見られた。
- ・表現が苦手な生徒の意欲が高まった。
- ・自信をもって自分の考えを発表できた。
- ・思考力・表現力を高める取組みが効果的だった。
- ・自分の考えを理由とともに説明することができる。
- ・調べた内容をわかりやすくまとめて発表しやすくなった。
- ・デジタルとアナログのそれぞれのメリットを踏まえた使い分けについて整理し、教科等の目標の達成に向けた、分かる・楽しい授業をデザインして、授業改善へとつなげることができた。
- ・教師、児童ともに、タブレット等の操作に習熟し、教材・教具として十分活用できるようになり、情報活用の実践力が向上した。
- ・児童が電子黒板を用いて考えを説明したり、タブレットの画面を見ながら意欲的に話し合ったりする等、言語活動が充実した。
- ・デジタル教科書や学習コンテンツを活用することで、教材準備の時間が短縮できるようになった。

### (2) 特別支援学級

- ・導入部分で画像を用いることで興味関心を高め、画像の活用や比較を通して気付きを促したり、理解を補ったり、思考を深めたりすることができた。
- ・ICT機器の効果的活用を指導に生かすとともに、講師の先生方からご指導いただき、ユニバーサルデザイン、インクルーシブデザイン教育の大切さについて理解を深めることができた。
- ・タブレット端末の投影機能を活用し、電子黒板やデジタルテレビに投影することで、板書の効率化や視覚的な面で効果的な支援を行うことができた。
- ・世界地図を拡大・縮小することで、国名と都市を探すとともに国の位置を関連付けて知ることができた。

### 3 タブレット端末を活用した教育の評価

#### (1) 通常の学級の児童・生徒の意識

- ・約87%の児童・生徒が、タブレットを使った授業は「楽しい」と回答している。
- ・約84%の児童・生徒が、タブレットを使った授業は「分かりやすい」と回答している。
- ・約80%の児童・生徒が、タブレットや電子黒板を使うと、「自分の考えをわかりやすく伝えたり説明したりしやすい」と回答している。
- ・約83%の児童・生徒が、タブレットや電子黒板を使うと、「クラス全体での話し合いがしやすい」と回答している。

※ 今回、小学校については、4年生以上の児童全員分のタブレットが配置され、4年生以上を主とした全校児童を対象に検証が行われた。

中学校については、全生徒の約半数分のタブレットが配置され、全校生徒を対象に検証が行われた。

1人が1台のタブレットを使用する個別学習と3人～6人で1台のタブレットを使用するグループ学習が行われたが、どちらの場合でも、タブレットにより学習意欲を引き出された児童・生徒が多かったと考えられる。また、自分の考えを表現したり、話し合ったりする活動に特に効果があったと考えられる。

これは、指導場面に応じて適切にタブレット端末を活用し、学習形態を工夫したことによる成果と捉えることができる。そして、タブレットの利用方法として、互いの見方や考え方を基にじっくり話し合ったり、学習成果を共有しあったりすることができるグループ学習の有効性も十分に検証されたので、当初は、1人1台配置する必要はないものとする。

ただし、個別学習（1クラス40人と仮定）が行われる環境も整える必要があるため、1校あたり最低限40台は必要となる。これ以上のタブレットの配置については、1学年あたりの学級数の増加に合わせ、配置数を増やすのが適当と考えられる。

なお、ノートとタブレットを使い分けながら学習を進めるには、一定程度の学習経験が必要であり、小学校の教育課程を修了した中学生の方が、よりスムーズにタブレットを活用できると考えられる。

また、文字の使い方の習得・定着を図るためには、日常的なノート指導をはじめ、いろいろな機会を捉えて文字を書くことが大切であることから、特に小学校の低学年においては、発達段階や学習状況に応じたタブレットの活用となるよう留意する必要がある。

#### (2) 特別支援学級の児童・生徒の意識

- ・約93%の児童・生徒が、タブレットを使った授業は「楽しい」と回答している。
- ・約86%の児童・生徒が、タブレットを使った授業は「分かりやすい」と回答している。

※ 今回、特別支援学級の児童・生徒に対しては、全員分のタブレットを配置し、検証が行われた。そして、タブレットを使った授業は、「楽しい」「分かりやすい」と好意的に受け止められたと考えられる。また、通常の学級よりも「楽しい」「分かりやすい」と感じる児童・生徒の割合が多かった。

これは、タブレット端末を活用して、児童・生徒一人ひとりの学習状況に応じた最適な視覚的情報が提示されたことやコミュニケーション手段の一つとして身近な道具になったことなどが、

楽しい・分かりやすいという思いにつながったと考えられる。特別支援学級では、1人が1台のタブレットを使用する全体学習の有効性が認められた。

### (3) 教員の意識

- ・全ての教員が、児童・生徒の学習意欲を高めたり学習への理解を深めたりするために、タブレット端末は「効果的だと思う」と回答している。
  - ・8割以上の教員が、児童・生徒の表現や技能を高めたり思考を深めたりするために、タブレット端末は「効果的だと思う」と回答している。
  - ・教材研究や指導の準備にICTを活用することや、授業中にICTを活用して指導することが「できる」と回答した教員の割合が増加している。
  - ・ICTの活用や情報モラル等について児童・生徒に指導することが「できる」と回答した教員の割合が増加している。
  - ・児童・生徒用タブレット端末を利用するための事前準備（教材等の準備やシステムの立ち上げ）や片付けを「負担ではない」と回答した教員の割合が増加している。
  - ・授業の中での児童・生徒用タブレット端末や教員用タブレット端末の活用頻度が高くなっている。
- ※ このことから、教員は、タブレット端末の活用が教育活動に効果的であると考えるとともに、事業を進めていく中で、自分自身のICT活用指導能力も向上していると捉えていると思われる。

また、起動トラブルやネットワークトラブルへの対応が必要であったり、担当教科等によって指導する担当時間数が異なったりしたが、タブレット端末の活用頻度は高くなっており、タブレット端末の運用環境が充実・安定することで、教員の使用頻度もさらに高くなると考えられる。

モデル事業を行った当時は、各校に設置された電子黒板の数も少なく、またタブレットも教員1人に1台配付されていなかったことを鑑みると、与えられた環境の中で、各モデル校は、創意工夫を凝らし、タブレットを十分に使いこなしたと考えられる。

### (4) その他

- ・1人1台体制は、児童・生徒用のデジタル教科書の導入時期も踏まえての検討が必要である。
- ・教員のICT機器活用能力向上のための取組を進めていく必要がある。
- ・ICT支援員の効果的な活用等を進めていく必要がある。
- ・今後は、持ち運びのできるタブレット端末が、既存のPCの代替となるので、既存のPCについては、リース満了後は更新不要と考えられる。
- ・タブレット端末の導入後は、コンピューター室に行かず、各教室で授業を行うことができるようになるので、コンピューター室のあり方について検討する必要がある。

#### 4 今後の方向性

タブレット端末には従来からのPCにはない、軽量で持ち運びが容易であり使用場所を選ばないという特徴がある。また、モデル校における成果やタブレット端末を活用した教育の評価を踏まえると、タブレット端末による授業の有効性は、児童・生徒及び教員が実感しているところであり、各小中学校へのタブレット端末の配置は、今回の検証を踏まえ、順次以下のとおり進めるべきと考える。

また、教員のICTスキルを高めるとともに、教員の負担軽減を図っていくことも必要である。

##### (1) 配置の順位

配置に当たっては、特別支援学級の方が通常の学級よりも「楽しい」「分かりやすい」と感じる児童・生徒の割合が大きいことなどから、まず、特別支援学級及び特別支援教室へのタブレット端末の配置を検討する。

そして、通常の学級では、中学生の方がタブレットの使用に必要な一定程度の学習経験を積んでいること、また、小学校より早く電子黒板を配置している中学校の教員の方が、電子黒板の操作スキルが定着していることから、先に中学校に配置し、次に小学校に配置していく方向で検討する。

##### (2) タブレット端末の配置台数

###### ① 特別支援学級及び特別支援教室

特別支援学級では、区の重視するインクルーシブ教育システムの構築を推進するため、またコミュニケーション手段としての有効なツールと考えられることから、一人一台の環境を整えることが望ましい。

###### ② 小学校・中学校

通常の学級では、まず、グループ学習に必要な台数を導入し、当初は、個別学習にとらわれない柔軟な利用法を模索していき、区の学力レベルにあった質の高い授業が行える体制を整えていくことが望ましい。

中学校については、生徒3人に対してタブレット1台とし、個別学習とグループ学習に対応する。

小学校については、当面は高学年の利用を主として考え、6人に対してタブレット1台の配置とし、個別学習とグループ学習に対応する。

###### ・中学校

40台（原則）

80台（2学級以上の学年があり、全校で4学級～6学級の場合）

120台（3学級以上の学年があり、全校で7学級～9学級の場合）

###### ・小学校

40台（原則）

80台（2学級以上の学年があり、全校で7学級～12学級の場合）

120台（3学級以上の学年があり、全校で13学級～18学級の場合）

160台（4学級以上の学年があり、全校で19学級～24学級の場合）



### ③予備等

故障の予備機として40台当たり10台程度の追加を検討する。

タブレットの配置に併せて、各校にサーバールームを設け、プリンターはフロアごとに配置するのが望ましい。

### (3) 教員のICT機器活用能力向上のために

- ・各学年・分科会にICT機器の操作に詳しいリーダーを配置することで、操作や活用方法について、気軽にいつでも質問できる環境をつくる。
- ・ICT実践報告会を定期的に短時間で実施する。
- ・「1人1実践」のICTを活用した取組と成果について「授業報告会」を実施する。
- ・ICTを活用した授業の相互参観を実施する。
- ・ハードウェアやソフトウェア企業から講師を招き、操作法や活用法の研修を実施する。
- ・教員相互の活用法の交流会を実施する。
- ・研修内容をICT機器操作からICT機器活用へシフトしていく。

### (4) 各校におけるICT支援員の効果的な活用

- ・ICT支援員を講師に、操作法講習や個別相談会を実施する。
- ・タブレット端末を活用した教材・ワークシートを作成する。
- ・各学級の機器整備や授業で使える状態までタブレットを準備する。
- ・授業中の機器サポートや操作補助を行う。
- ・アプリケーションの活用方法や教材開発でのサポートを行う。
- ・ICT機器の操作マニュアルを作成する。
- ・校内サーバーのフォルダ内にICT支援員への依頼のためのファイルを作成し、ICT状況を把握できるようにする。ICT支援員が仕事の順位を付けられるようにする。

## 5 まとめ

児童・生徒が、今後の高度情報化社会の進展に貢献できるようになるためには、情報活用能力や情報技術を手段として活用する能力の育成が重要である。そのためには、各教科等の授業において、日常的に情報や情報手段を主体的に選択し活用できる教育環境の充実が必要である。

また、現在、国においては、次期学習指導要領の実現に不可欠な、ICT環境やICT教材の在り方について議論しているところである。文京区教育委員会においても、児童・生徒の実態や教育環境の状況を踏まえ、次期学習指導要領の確実な実施のために必要なICT環境について、計画整備していく必要がある。

6 資料編

(1) 活用事例

文京区立湯島小学校 (通常の学級)

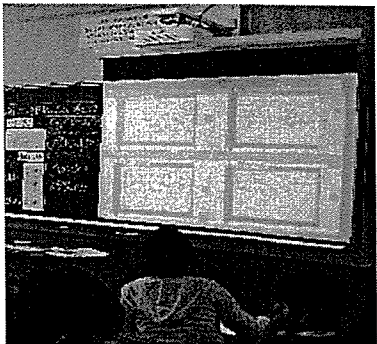
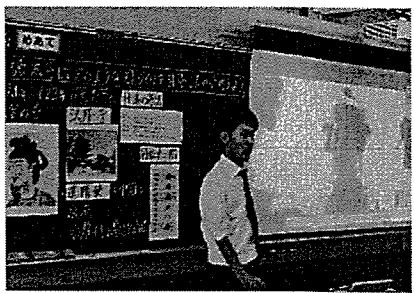
◇第6学年社会科 小单元名「大陸に学んだ国づくり」

小单元の目標

天皇を中心とした中央集権の国づくりが、大陸の政治や文化に学びながら進められたことを捉えるとともに、大陸文化を消化・吸収する中から日本風の文化が花開いていったことを理解する。

- 本時の目標
- ・ 聖徳太子の業績について調べる。
  - ・ 聖徳太子がどのような国づくりを目指したのか考え、まとめる。

学習形態	○学習活動 ・ICT機器活用
一斉学習	<p>○前時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時を想起させるために大切な言葉や写真を児童のタブレット端末に表示する。</li> </ul> <p>○聖徳太子について知っていることを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板に聖徳太子の人物像を提示する。</li> <li>・ 電子黒板で聖徳太子の紹介映像をみる。</li> </ul> <p>○調べたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板で聖徳太子が行ったことを映像でふり返り聖徳太子の業績がより確実に知識として身に付くようにする。</li> </ul> <p>○聖徳太子はどのような国づくりを目指したのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板に聖徳太子が行ったことを写真や文章で提示する。</li> </ul> <p>○まとめた意見を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板に発表グループのタブレット端末の画面を表示したり、キーワードとなる言葉にマーキングしたりする。</li> </ul>
個別学習	<p>○本時のめあてを確認し、聖徳太子がどのようなことを行ったのか調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレットの教材一覧に聖徳太子に関する資料を複数入れ、その中から必要な情報を選択できるようにする。</li> </ul>
協働学習	<p>○聖徳太子になったつもりで「遺言」を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレット端末で、グループでまとめるためのワークシートに書き込む。</li> <li>・ 一つにまとめることで、全員が自分の意見を発表する機会をつくる。</li> <li>・ 教員のタブレット端末の画面一覧で児童の作業状況を把握する。</li> </ul>



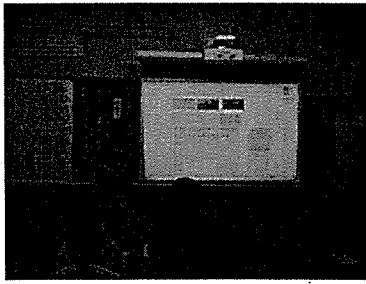
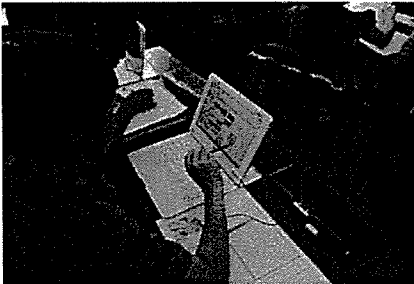
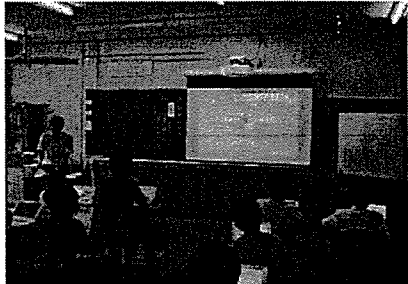
◇第5学年国語 単元名「新聞を読もう」

単元目標

新聞の仕組みを知り、それをもとに同じできごとを扱った新聞記事を読み比べたり、内容や見出し写真などについて気付いたことを発表し合ったりする。

本時の目標 ・二つの新聞記事を読み比べ、書き手の意図を考える。

学習形態	○学習活動 ・ICT機器活用
一斉学習	<p>○前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンに「コラボノート」で作成した学習記録を提示する。</li> <li>・前時までに学習した新聞の特徴や記事の構成についておさえる。</li> </ul> <p>○二つの新聞記事で扱われている出来事を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞記事の内容をよりよく理解するため、北京オリンピックの平泳ぎの動画をみる。</li> </ul>
個別学習	<p>○二つの記事を読み比べ、書き手の伝えたいことを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記事の意図、見出しの効果について比べながら読ませる。</li> <li>・タブレットの「コラボノート」に、自分の考えを付箋で貼り付けさせる。</li> <li>・根拠のある考えになるように、記事中の言葉や表現に注目させる。</li> </ul> <p>○記事に合った見出しを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの「コラボノート」に、自分の考えを付箋で貼り付けさせる。</li> <li>・記事中の言葉や表現をもとに見出しを考えさせる。</li> </ul> <p>○学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットの「コラボノート」で、単元全体の学習内容を振り返らせる。</li> <li>・単元全体を振り返った感想を書かせる。</li> </ul>
協働学習	<p>○自分の考えを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクリーンに「コラボノート」を提示し、友達と考えを共有する。</li> <li>・考えを共有しやすくするために、発表者の付箋を拡大して提示する。</li> </ul>

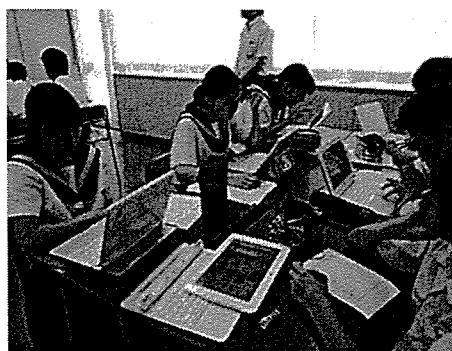


文京区立茗台中学校（通常の学級）

◇第2学年総合的な学習の時間 単元名「『伝統工芸』を学ぶ」

単元の目標 ・文京区に受け継がれた伝統工芸について知る。

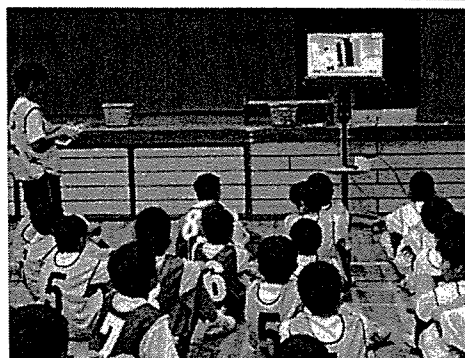
学習形態	○学習活動 ・ICT機器活用
一斉学習	○前時までの学習を振り返り、本時の学習内容を確認する。 ・タブレット端末で、各班での発表事項を確認する。 ○本時の学習を振り返る。 ・「伝統工芸」に関する説明をしているホームページを見る。
協働学習	○各班内で発表する。 ・文京区に受け継がれた伝統工芸について担当しているテーマを、タブレット端末を使って効率よく伝える。 ○本時の学習を振り返る。 ・文京区に受け継がれる「伝統工芸」について考えたことを付箋に書いて共有する。



◇第1学年保健体育 単元名「球技（バスケットボール）」

本時の目標 ・ドリブルシュートのステップやフォームを身に付ける。  
・互いのフォームを見て考え、修正する力を付ける。

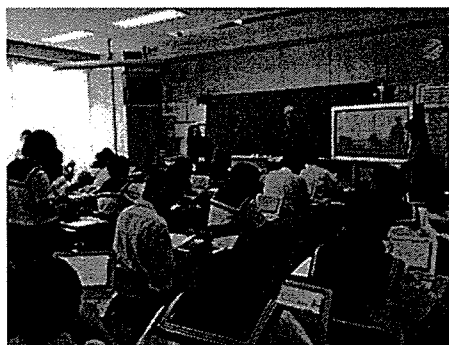
学習形態	○学習活動 ・ICT機器活用
一斉学習	○全体で意見交換しながら自分の技能上達に生かす。 ・各グループで撮影した中から、上手な人やうまくできない人のフォームをアップルTVで共有し、全体で意見を交換する。
協働学習	○ドリブルシュートをグループで練習する。 ・iPadでグループ全員のフォームを撮影し、一人一人のプレーを映像で確認しながら、よいフォームや改善点を話し合う。



◇第2学年英語 単元名「日記を書いてみよう」

本時の目標 ・今まで習った表現を使って日記を書く。

学習形態	○学習活動 ・ICT機器活用
一斉学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○前時までの学習を振り返る。</li> <li>・日記を書くときの基本的な表現をデジタルテレビに提示して復習する。</li> <li>○ALTが作成した例文の日記を読み、表現の参考にする。</li> <li>・ALTの日記をデジタルテレビに提示する。</li> <li>○いろいろな表現を学び合い語彙を増やす。</li> <li>・できあがった作品をデジタルテレビに提示して重要な表現を学び合う。</li> </ul>
個別学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ALTの手本を参考にして、各自で日記を書く。</li> <li>・読みやすくするためにイラストを入れたり字体を工夫したりして、タブレット端末に日記を書く。分からない表現はタブレットで調べながら書き進める。</li> </ul>



文京区立林町小学校（特別支援学級）

◇生活単元 単元名「買い物をしよう」（11時間扱い）

単元の目標 実際のお店において、一人で金銭を扱い、買い物ができるようになる。

8時間目の目標 ・個別の課題に合わせて、頼まれた物や必要な物を正しく買う。

ICT活用の目的	○学習活動
<p>学習内容を全体に提示することで、児童の興味・関心を高め、意欲的に学習に取り組めるようにする。</p>	<p>○タブレット端末をテレビに接続し、画面上でめあてや流れについて確認する。 ○上手に買い物ができたらタブレット端末の「福引き」アプリを活用し、買い物の意欲向上や達成感・充実感を味わえるようにする。</p>
<p>やるべきことをタブレット端末やテレビで提示することで、児童が課題を明確につかめるようにする。</p>	<p>○児童の実態に応じて、レジや買い物中に「ホワイトボード」アプリを使用し、お金の出し方や計算の補助となるようにする。</p>
<p>資料や動画・写真・スライド等を画面に表示することで、児童の思考が深まるようにする。</p>	<p>○金額内で上手に買い物ができた児童を紹介する。</p>
<p>お金の数え方やおつりの計算等をタブレット端末で補完しながら知識の定着を図ることができるようにする。</p>	<p>○「コインクロス」アプリを使用し、表示された数の中にコインを移動してお金と数字を結び付けられるようにする。</p>
<p>必要な情報を検索したり、自分でまとめたりすることができるようにする。</p>	<p>○タブレット端末のカメラ機能を活用し、買うものを自分で選択できるようにする。 ○インターネットで検索したり電卓を活用したりして、必要な材料を金額内で探せるようにする。</p>
<p>自分のねらいを達成するために、考えをまとめたりすることができるようにする。</p>	<p>○タブレット端末を見ながら、買った物を発表できるように準備する。</p>
<p>コミュニケーションの手助けとし、自力解決できるようにする。</p>	<p>○タブレット端末のアプリ「棒読み」を活用する。</p>



文京区立第九中学校（特別支援学級）

◇数学 単元名「折れ線グラフ」

本時の目標 ・表を基にして、折れ線グラフを正しく書くことを理解する。

○学習活動 ・ICT機器活用
○前時の振り返りと本時の学習内容を確認する。 ・前回の学習内容をデジタルテレビに映して確認する。
○折れ線グラフの書き方（手順）を知る。 ・折れ線グラフの書き方をデジタルテレビに映して説明する。
○各自で書いた折れ線グラフを全体で確認する。 ・書いた折れ線グラフをタブレットで写しデジタルテレビに映して確認する。
○折れ線グラフの書き方を確認する。 ・折れ線グラフの書き方をデジタルテレビに映し確認する。

◇道徳 主題名「目標を立て、努力する大切さ」

ねらい ・自分で目標を立てることの大切さを理解する。  
・目標を達成するために今自分がすべきことを考える。

○学習活動 ・ICT機器活用
○一流選手の努力したことについて知る。 ・タブレットの投影機能で、イチロー選手や本田選手の顔写真や努力したことをデジタルテレビに映す。
○目標を達成するために考えていることをワークシートに記入し発表する。 ・タブレットのカメラ機能で、一人ひとりの考えをデジタルテレビに映して発表する。

◇生活 単元名「間食（おやつ）の取り方を考えよう」

本時の目標 ・菓子に含まれる糖分や塩分の量と摂り過ぎによる健康への弊害を知り、  
間食の取り方を考える。

○学習活動 ・ICT機器活用
○ジュースや菓子に含まれる塩分や糖分を知る ・タブレットの投影機能で、商品のパッケージや成分量をデジタルテレビに映す。
○一日の適切な菓子の摂取量を具体的に知る。 ・タブレットのカメラ機能で、おやつの摂取量をデジタルテレビに映す。



(2) タブレット端末を活用したICT教育モデル事業 研究発表会・研究報告会

実施内容

<p>第九中学校 平成 27 年 11 月 30 日(月)</p>	<p>タブレット型PCを活用した学習指導の在り方 多様な学習形態に応じたタブレット型PCの活用方法を考え、授業実践を通して、タブレット型PCの活用の有効性等について検討し、今後のタブレット型PCを活用した学習指導の在り方を考えた。</p>
<p>林町小学校 平成 27 年 12 月 9 日(水)</p>	<p>ICTを活用した効果的な指導の工夫 「一人一研究」として、研究授業や研修会、実践報告会を通して実践を重ねた。特別支援教育やユニバーサルデザインを踏まえたタブレット端末等を活用した指導の工夫について、その効果を検証した。 講師：文京区合理的配慮協力員 森下 由規子 様</p>
<p>茗台中学校 平成 28 年 1 月 15 日(金)</p>	<p>タブレット型PCを活かすICTシステムの在り方 学習指導をはじめとした学校の教育活動において、タブレット型PCの特徴を活かすICTシステムの在り方について、以下のとおり検証した。 ① 協働学習用ソフトの効果的な活用方法 ② Windows タブレットの強みと弱み ③ iPad の強みと弱み ④ Windows タブレットと iPad の接続 ⑤ AppleTV やプロジェクターの効果的な活用 等。 公開授業 6 学級 6 単元 講演会 講師：日本女子大学教職教育開発センター所長 日本女子大学教育学科教授学術博士 吉崎 静夫 様</p>
<p>湯島小学校 平成 28 年 2 月 17 日(水)</p>	<p>子供が自ら考え、判断し、表現する力の育成 ～ICTを活用した授業デザイン「湯島モデル」を通して～ 「分かる楽しい授業」を実現するために、学習過程と学習形態に応じてICTを効果的に活用した授業デザイン「湯島モデル」を構築し、児童の主体的な学習を促すタブレット端末の活用法について検証するとともに、児童に情報活用の実践力や情報モラル等の情報活用能力を育成した。 公開授業 11 学級 16 単元 指導講評 講師：千葉大学教育学部教授 藤川 大祐 様</p>

(3) アンケート集計表

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート(生徒用)集計

湯島小学校 4～6年①

■とても  
そう思う ■少しそう  
思う ■あまり  
思わない ■まったく  
思わない ■無回答

No.	質問内容	回数	回答割合				
			とても そう思う	少しそう 思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
1	学校の授業の内容はよくわかりますか。	1回目	66.2%	31.3%	0.0%	0.0%	0.0%
		最終回	82.0%	17.3%	0.0%	0.0%	0.0%
2	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。	1回目	16.2%	35.1%	29.2%	18.2%	1.3%
		最終回	14.0%	37.3%	24.0%	24.0%	0.7%
3	学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできていると思いますか。	1回目	35.7%	39.6%	16.9%	7.1%	7.1%
		最終回	40.0%	46.0%	12.0%	0.0%	0.0%
4	友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	1回目	22.7%	27.3%	36.4%	13.6%	0.0%
		最終回	19.4%	36.0%	36.0%	7.3%	0.0%
5	友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができますか。	1回目	57.2%	30.5%	7.1%	3.9%	0.0%
		最終回	54.0%	36.0%	6.0%	0.0%	0.0%
6	友だちに伝えたいことをうまく伝えることができますか。	1回目	31.8%	40.9%	18.8%	7.2%	0.0%
		最終回	31.3%	48.7%	16.6%	0.0%	0.0%

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート(生徒用)集計

湯島小学校 4～6年②

■とてもそう思う ■少しそう思う ■あまり思わない ■まったく思わない ■無回答

質問番号	質問内容	回答回数	とてもそう思う	少しそう思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
7	タブレットやパソコンを家でもよく使っていますか。	1回目	53.9%	14.9%	17.5%	13.7%	0.0%
		最終回	51.3%	22.7%	13.3%	12.7%	0.0%
8	タブレットを使った授業は、楽しいですか。	1回目	77.3%	13.0%	6.5%	2.2%	0.0%
		最終回	70.0%	20.6%	6.7%	2.0%	0.0%
9	タブレットを使った授業は、わかりやすいですか。	1回目	54.9%	24.7%	7.8%	13.3%	0.0%
		最終回	56.0%	20.0%	11.3%	20.0%	0.0%
10	タブレットの画面は、見やすいと思いますか。	1回目	65.9%	22.7%	5.2%	6.0%	0.0%
		最終回	73.3%	16.7%	5.3%	4.0%	0.0%
11	タブレットを使うと、自分にあった方法やペースで学習しやすいですか。	1回目	59.1%	26.6%	9.1%	5.0%	0.0%
		最終回	53.3%	26.0%	17.3%	2.0%	0.0%
12	タブレットや電子黒板を使うと、自分の考えをわかりやすく伝えたり説明したりしやすいですか。	1回目	47.4%	32.5%	13.6%	5.3%	0.0%
		最終回	54.7%	30.6%	12.7%	10.0%	0.0%
13	タブレットや電子黒板を使うと、クラス全体での話し合いがしやすいですか。	1回目	48.1%	33.8%	12.3%	3.9%	0.0%
		最終回	63.4%	24.0%	10.0%	13.9%	0.0%
14	タブレットを使った授業に不安なことがありますか。	1回目	8.4%	10.4%	24.0%	56.5%	0.7%
		最終回	6.7%	7.3%	22.7%	62.0%	1.3%

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート(生徒用)集計

茗台中学校 1～3年①

■とてもそう思う ■少しそう思う ■あまり思わない ■まったく思わない ■無回答

No.	質問内容	回数	回答割合				
			とてもそう思う	少しそう思う	あまり思わない	まったく思わない	無回答
1	学校の授業の内容はよくわかりますか。	1回目	50.0%	45.5%	3.0%	0.0%	0.0%
		最終回	62.0%	33.0%	3.0%	0.0%	0.0%
2	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。	1回目	23.1%	36.6%	32.8%	7.5%	0.0%
		最終回	24.6%	39.7%	28.5%	5.0%	2.2%
3	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。	1回目	40.3%	38.1%	16.4%	2.2%	0.0%
		最終回	45.8%	43.0%	8.4%	1.7%	0.0%
4	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	1回目	16.4%	23.9%	40.3%	19.4%	0.0%
		最終回	16.2%	31.9%	34.6%	15.1%	2.2%
5	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	1回目	52.2%	43.3%	3.0%	0.0%	0.0%
		最終回	59.8%	31.8%	6.1%	0.0%	0.0%
6	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか。	1回目	17.9%	50.7%	26.9%	3.0%	0.0%
		最終回	25.7%	48.1%	20.1%	5.0%	0.0%

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート(生徒用)集計

茗台中学校 1～3年②

■とても  
そう思う   ■少しそう  
思う   ■あまり  
思わない   ■まったく  
思わない   ■無回答

質問番号	質問内容	回答回数	とても そう思う	少しそう 思う	あまり 思わない	まったく 思わない	無回答
7	タブレットやパソコンを家でもよく使っていますか。	1回目	52.2%	22.4%	16.4%	9.0%	0.0%
		最終回	58.1%	24.6%	12.8%	3.9%	0.0%
8	タブレットを使った授業は、楽しいですか。	1回目	38.1%	41.8%	17.9%	0.0%	0.0%
		最終回	43.6%	38.5%	11.2%	0.0%	0.0%
9	タブレットを使った授業は、わかりやすいですか。	1回目	23.9%	41.8%	28.3%	6.0%	0.0%
		最終回	42.5%	41.3%	14.5%	0.0%	0.0%
10	タブレットの画面は、見やすいと思いますか。	1回目	38.8%	38.8%	19.4%	3.0%	0.0%
		最終回	50.8%	36.3%	10.1%	0.0%	0.0%
11	タブレットを使うと、自分に合った方法やペースで学習しやすいですか。	1回目	17.9%	45.5%	29.1%	7.5%	0.0%
		最終回	36.9%	40.2%	20.7%	0.0%	0.0%
12	タブレットや電子黒板を使うと、自分の考えをわかりやすく伝えたり説明したりしやすいですか。	1回目	28.3%	36.6%	29.1%	6.0%	0.0%
		最終回	41.3%	38.6%	16.2%	2.8%	0.0%
13	タブレットや電子黒板を使うと、クラス全体での話し合いがしやすいですか。	1回目	29.1%	38.8%	26.1%	5.0%	0.0%
		最終回	45.2%	38.0%	12.3%	3.9%	0.0%
14	先生が黒板だけで授業する場合と比べて、タブレットや電子黒板を使って授業をする方が学習の役に立つと思いますか。	1回目	23.1%	40.3%	28.4%	7.5%	0.0%
		最終回	36.3%	43.6%	14.0%	5.0%	0.0%
15	タブレットを使った授業に不安なことがありますか。	1回目	6.7%	26.1%	47.8%	19.4%	0.0%
		最終回	7.3%	14.0%	41.3%	36.9%	0.0%

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート(生徒用)集計

林町小学校 特別支援学級 1～6年

■はい ■いいえ ■わからない

1	タブレットやパソコンを、家でもよくつかっていますか。	1回目	100.0%		
		最終回	92.9%	0.0%	6.1%
2	タブレットをつかったべんきょうは、楽しいですか。	1回目	100.0%		
		最終回	92.9%	0.0%	6.1%
3	タブレットをつかったべんきょうは、わかりやすいですか。	1回目	100.0%		
		最終回	85.8%	7.1%	7.1%
4	タブレットをつかってから、できるようになったことがふえましたか。	1回目	100.0%		
		最終回	78.6%	0.0%	21.4%
5	タブレットは、見やすいですか。	1回目	90.0%	0.0%	10.0%
		最終回	92.9%	0.0%	6.1%
6	タブレットをつかっていて、しんぱいなことがありますか。	1回目	0%	70.0%	30.0%
		最終回	14.3%	78.6%	7.1%

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート(生徒用)集計

第九中学校 特別支援学級 1～3年

■はい ■いいえ ■わからない

1	タブレットやパソコンを、家でもよく使っていますか。	1回目	81.8%	18.2%	0.0%
		最終回	66.7%	25.0%	8.3%
2	タブレットをつかったべんきょうは、楽しいですか。	1回目	90.9%	0.0%	8.1%
		最終回	100.0%	0.0%	0.0%
3	タブレットをつかったべんきょうは、わかりやすいですか。	1回目	72.7%	0.0%	27.3%
		最終回	100.0%	0.0%	0.0%
4	タブレットをつかってから、できるようになったことがふえましたか。	1回目	63.6%	0.0%	36.4%
		最終回	83.3%	16.7%	0.0%
5	タブレットは、見やすいですか。	1回目	64.5%	27.3%	13.2%
		最終回	91.7%	8.3%	0.0%
6	タブレットをつかっていて、しんぱいなことがありますか。	1回目	9.1%	54.5%	36.4%
		最終回	16.7%	66.7%	16.7%

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート①(教師用)集計

～ICTを活用した教育の効果(教員のICT活用指導能力)に関する項目～

■とてもそう思う ■少しそう思う ■あまり思わない ■まったく思わない ■わからぬ ■無回答

項目	質問内容	回数	回答割合				
			とてもそう思う	少しそう思う	あまり思わない	まったく思わない	わからぬ
1	タブレット端末は、児童・生徒の学習意欲を高めることに効果的だと思いますか	1回目	52.8%	38.9%	20.3%	0.0%	0.0%
		最終回	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2	タブレット端末は、児童・生徒の理解を高めることに効果的だと思いますか	1回目	30.6%	50.0%	2.8%	11.1%	0.0%
		最終回	47.2%	52.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3	タブレット端末は、児童・生徒の表現や技能を高めることに効果的だと思いますか	1回目	36.1%	41.7%	16.7%	0.0%	0.0%
		最終回	52.8%	41.6%	2.8%	0.0%	0.0%
4	タブレット端末は、児童・生徒の思考を深めたり広げたりすることに効果的だと思いますか	1回目	19.4%	61.1%	13.9%	2.8%	0.0%
		最終回	36.1%	52.8%	8.3%	0.0%	0.0%
5	児童・生徒用タブレット端末を利用するための教材等の準備は、負担ではないと思いますか	1回目	8.3%	25.0%	25.0%	33.3%	13.9%
		最終回	8.3%	30.6%	38.9%	16.7%	5.6%
6	児童・生徒用タブレット端末のシステムを立ち上げるのは、負担ではないと思いますか	1回目	16.7%	25.0%	27.8%	19.4%	11.1%
		最終回	22.3%	25.0%	36.1%	8.3%	8.3%
7	授業終了後に児童・生徒用タブレット端末を片付けるのは負担ではないと思いますか	1回目	22.2%	13.9%	30.6%	25.0%	8.3%
		最終回	19.4%	30.6%	25.0%	19.4%	2.8%

■ほぼ毎日 ■週に ■月に ■まったく ■無回答  
1～3回 1～3回 活用しない

項目	質問内容	回数	回答割合				
			ほぼ毎日	週に	月に	まったく	無回答
8	これまで授業の中での児童・生徒用タブレット端末の活用頻度	1回目	5.6%	41.7%	33.3%	13.9%	5.6%
		最終回	19.4%	30.6%	41.7%	8.3%	0.0%
9	これまで授業の中での教師用タブレット端末の活用頻度	1回目	11.1%	25.0%	41.7%	19.4%	2.8%
		最終回	30.6%	27.8%	33.3%	8.3%	0.0%



「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート②(教師用)集計

～ICTを活用した教育の効果(教員のICT活用指導能力)に関する項目～

■わりにできる ■ややできる ■あまりできない ■ほとんどできない ■無回答

項目	内容	回数	割合			
			わりにできる	ややできる	あまりできない	ほとんどできない
A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	A-1 教育効果をあげるには、どの場面にどのようにしてコンピュータやインターネットを利用すればよいかを計画する。	1回目	13.9%	41.7%	38.9%	2.8%
		最終回	25.0%	63.9%	11.0%	0.0%
	A-2 授業で使う教材や資料などを集めるために、インターネットやCD-ROMなどを活用する。	1回目	25.0%	52.8%	16.7%	2.8%
		最終回	38.9%	50.0%	11.0%	0.0%
	A-3 授業に必要なプリントや提示資料を作成するために、ワープロソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。	1回目	38.9%	44.4%	11.1%	2.8%
		最終回	50.0%	36.1%	13.9%	0.0%
	A-4 評価を充実させるために、コンピュータやデジタルカメラなどを活用して生徒の作品・学習状況・成績などを管理し集計する。	1回目	16.7%	55.6%	13.9%	11.1%
		最終回	25.0%	36.1%	38.9%	0.0%
B 授業中にICTを活用し指導する能力	B-1 学習に対する生徒の興味・関心を高めるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	1回目	27.8%	33.3%	33.3%	2.8%
		最終回	33.3%	58.3%	5.6%	0.0%
	B-2 生徒一人一人に課題意識をもたせるために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	1回目	22.2%	41.7%	30.6%	2.8%
		最終回	27.8%	52.8%	16.7%	1.1%
	B-3 わかりやすく説明したり、生徒の思考や理解を深めたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。	1回目	19.4%	50.0%	25.0%	2.8%
		最終回	22.2%	58.3%	19.4%	0.0%
	B-4 学習内容をまとめる際に生徒の知識の定着を図るために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などをわかりやすく提示する。	1回目	16.7%	30.6%	44.4%	5.6%
		最終回	27.8%	38.9%	30.6%	1.1%
C 児童・生徒のICT活用を指導する能力	C-1 生徒がコンピュータやインターネットを活用して、情報を収集したり選択したりできるよう指導する。	1回目	13.9%	44.4%	33.3%	5.6%
		最終回	25.0%	50.0%	22.2%	1.1%
	C-2 生徒が自分の考えをワープロソフトで文章をまとめたり調べたりしたことを表計算ソフトで表や図などにまとめたりすることを指導する。	1回目	11.1%	36.1%	33.3%	16.7%
		最終回	22.2%	38.9%	27.8%	11.0%
	C-3 生徒がコンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、わかりやすく発表したり表現したりできるように指導する。	1回目	11.1%	38.9%	33.3%	13.9%
		最終回	22.2%	41.7%	30.6%	5.6%
	C-4 生徒が学習用ソフトやインターネットなどを活用して、繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図れるように指導する。	1回目	11.1%	44.4%	27.8%	13.9%
		最終回	19.4%	44.4%	27.8%	8.3%
D 情報モラルなどを指導する能力	D-1 生徒が情報社会への参画にあたって責任ある態度と義務を果たし、情報に関する自分や他者の権利を理解し尊重できるように指導する。	1回目	3.3%	58.3%	22.2%	8.3%
		最終回	11.1%	56.7%	19.4%	2.8%
	D-2 生徒が情報の保護や取扱いに関する基本的なルールや法律の内容を理解し、反社会的な行為や違法な行為などに対して、適切に判断し行動できるように指導する。	1回目	3.3%	55.6%	25.0%	8.3%
		最終回	19.4%	61.1%	13.9%	5.6%
	D-3 生徒がインターネットなどを利用する際に、情報の信頼性やネット犯罪の危険性などを理解し、情報を正しく安全に活用できるように指導する。	1回目	3.3%	66.7%	13.9%	8.3%
		最終回	16.7%	66.7%	11.1%	5.6%
	D-4 生徒が情報セキュリティに関する基本的な知識を身に付けコンピュータやインターネットを安全に使えるように指導する。	1回目	3.3%	55.6%	25.0%	8.3%
		最終回	16.7%	58.3%	16.7%	8.3%

#### (4) タブレット端末を活用したICT教育モデル事業実施要項

### タブレット端末を活用したICT教育モデル事業実施要項

文教教セ第759号 平成26年11月27日教育推進部長決定

#### 1 趣旨

文京区教育振興基本計画において、「確かな学力の定着」に向けた方向性の一つとしてICT教育の充実が明記されたことを受け、ICT教育を進め、かつ児童生徒が自ら進んで学び、基礎的・基本的な知識・技能に加えて、課題解決に必要な思考力・判断力・表現力等を身に付けるため、小・中学校4校のモデル校において、タブレット端末を活用したICT教育モデル事業を実施するものである。

また、このモデル事業は、小・中学校でのタブレット端末を活用したICT教育の本格的な実施を見据えた検討に資するものである。

#### 2 モデル校

	小学校	中学校
通常の学級	湯島小学校	茗台中学校
特別支援学級	林町小学校	第九中学校

#### 3 実施期間

平成26年9月1日から平成28年3月31日まで。

#### 4 事業内容

モデル校は、本事業の趣旨に基づき、校内における研究体制を整備し、通常の学級及び特別支援学級それぞれの効果的な活用の研究を計画的・継続的に進める。また、研究課題に関する事例及び成果・課題等を取りまとめ、公開授業及び報告書で公表する。

##### (1) 研究課題

- ア 一斉学習、個別学習、協働学習でのタブレット端末を効果的に活用した指導事例及び成果
- イ タブレット端末を効果的に活用するための校内体制
- ウ タブレット端末を効果的に活用するための留意点及び配慮事項
- エ タブレット端末の学校導入に関する技術面、設備面等の課題
- オ その他タブレット端末の活用に関すること

##### (2) 公開授業

- ア モデル校は、区立小・中学校の教員等を対象とした公開授業を、実施期間中に2回程度行うこととする。なお、授業後の研究協議の公開、研究の説明等も実施できるものとする。
- イ モデル校は、研究報告会等で公表する場合は、教育センター統括指導主事（以下「統括指導主事」という。）と協議するものとする。また、統括指導主事は、必要に応じてモデル校間の連絡・調整を行うこととする。
- ウ 特別支援学級のモデル校の公開授業の取扱いについては、当該モデル校と統括指導主事とで別途協議するものとする。

##### (3) 報告書

- ア モデル校は、研究課題に関する事例及び成果・課題等を報告書に取りまとめ、コンピュータ教育推進委員会検討部会（以下「検討部会」という。）に提出する。
- イ 報告書の提出は、平成27年度の1学期終了時までの実践研究をまとめた中間報告と本事業

業の終了時にまとめた最終報告の2回とする。

(4) アンケート

本事業の成果を検証するに当たり、モデル校の児童・生徒、教員等を対象にアンケートを実施する。なお、アンケートの集計結果については、各モデル校等の報告書に反映するものとする。

(5) コンピュータ教育推進委員会への報告

検討部会は、各モデル校の報告書等を取りまとめるとともに、事業の成果等について精査し、その結果をコンピュータ教育推進委員会に報告するものとする。

5 教育推進部関係各課の役割分担

モデル事業を支援するための教育推進部各課の役割は、別表のとおりとする。

6 経費

教育委員会は、モデル校の調査研究に要する経費を予算の範囲内で支出する。

7 その他

この要項の施行に必要な事項については、教育センター所長が別に定める。

別表

課名	役割
教育センター	1 モデル校と密接な連絡を取り、検討部会及び学校訪問等を通し、研究内容及び進捗状況を確認する。 2 モデル校に対し、専門指導員が先進事例等の情報提供、タブレット端末の効果的な活用についての助言等を行う。 3 モデル校の公開授業の日程、内容等を取りまとめて小・中学校等への通知事務を行う。 4 モデル校のタブレット端末を活用した授業の参観を内容としたICTリーダー研修会を実施する。なお、実施に当たっては、当該モデル校と協議を行う。 5 模擬授業等を取り入れた教職員ICT研修を実施する。 6 アンケートの作成及び集計を行う。
学務課	1 モデル校の機器構成等の購入状況について、基礎情報を提供する。 2 モデル校の設置機器等の状況の把握を行う。 3 モデル校の設備面等について予算措置を行う。
教育指導課	1 モデル校に対し、タブレット端末等ICT機器を活用した授業改善、児童・生徒の情報教育、情報モラルの育成について学校訪問等を通し、指導及び助言を行う。

(5) アンケート様式

小学校 タブレットを使った授業についてのアンケート

○このアンケートは、湯島小学校のみなさんが、タブレットを使った学習について、どのように考えているのかを知るために行うものです。テストではありませんので、あなたが思っていることをそのまま答えてください。

下のそれぞれの質問に対して当てはまると思う番号に○をつけてください。

学年

年

質 問		1	2	3	4				
		とても そう 思う	少し そう 思う	あまり り 思わ ない	まっ たく 思わ ない				
学 習 全 体	1	学校の授業の内容はよくわかりますか。				1	2	3	4
	2	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。				1	2	3	4
	3	学級の友だちとの間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。				1	2	3	4
	4	友だちの前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。				1	2	3	4
	5	友だちと話し合うとき、友だちの話や意見を最後まで聞くことができますか。				1	2	3	4
	6	友だちに伝えたいことをうまく伝えることができますか。				1	2	3	4
タ ブ レ ッ ト を 使 っ た 授 業	7	タブレットやパソコンを家でもよく使っていますか。				1	2	3	4
	8	タブレットを使った授業は、楽しいですか。				1	2	3	4
	9	タブレットを使った授業は、わかりやすいですか。				1	2	3	4
	10	タブレットの画面は、見やすいと思いますか。				1	2	3	4
	11	タブレットを使うと、自分にあった方法やペースで学習しやすいですか。				1	2	3	4
	12	タブレットや電子黒板を使うと、自分の考えをわかりやすく伝えたり説明したりしやすいですか。				1	2	3	4
	13	タブレットや電子黒板を使うと、クラス全体での話し合いがしやすいですか。				1	2	3	4
	14	タブレットを使った授業に不安なことがありますか。				1	2	3	4
15	※14で不安なことがある（1とてもそう思う・2少しそう思う）と答えた人は、その理由を教えてください。								

## 中学校 タブレットを使った授業についてのアンケート

○このアンケートは、茗台中学校のみなさんが、タブレットを使った授業について、どのように考えているかを知るために行うものです。下の質問に対して当てはまると思う番号に○をつけてください。

※テストや成績にかかわるものではありません。

学年 \_\_\_\_\_ 年

質 問		1	2	3	4				
		とても そう 思う	少し そう 思う	あまり 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い				
学 習 全 般	1	学校の授業の内容はよくわかりますか。				1	2	3	4
	2	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。				1	2	3	4
	3	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。				1	2	3	4
	4	友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。				1	2	3	4
	5	友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。				1	2	3	4
	6	友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか。				1	2	3	4
タ ブ レ ッ ト を 使 っ た 授 業	7	タブレットやパソコンを家でもよく使っていますか。				1	2	3	4
	8	タブレットを使った授業は、楽しいですか。				1	2	3	4
	9	タブレットを使った授業は、わかりやすいですか。				1	2	3	4
	10	タブレットの画面は、見やすいと思いますか。				1	2	3	4
	11	タブレットを使うと、自分に合った方法やペースで学習しやすいですか。				1	2	3	4
	12	タブレットや電子黒板を使うと、自分の考えをわかりやすく伝えたり説明したりしやすいですか。				1	2	3	4
	13	タブレットや電子黒板を使うと、クラス全体での話し合いがしやすいですか。				1	2	3	4
	14	先生が黒板だけで授業する場合と比べて、タブレットや電子黒板を使って授業をする方が学習の役に立つと思いますか。				1	2	3	4
	15	タブレットを使った授業に不安なことがありますか。				1	2	3	4
16	質問15で、不安なことがある（1とてもそう思う・2少しそう思う）と答えた人は、その理由を書いてください。								

## 小学校 タブレットを使った授業についてのアンケート

○このアンケートは、林町小学校のみなさんが、タブレットを使ったべんきょうについて、おも思っていることを知るために行うものです。テストではありませんので、あなたが思っていることをそのまま答えてください。

年 \_\_\_\_\_

質問 (しつもん)		どれかひとつに○をつけてください
1	タブレットやパソコンを、家でもよくつかっていますか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
2	タブレットをつかったべんきょうは、楽しいですか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
3	タブレットをつかったべんきょうは、わかりやすいですか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
4	タブレットをつかってから、できるようになったことがふえましたか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
5	タブレットは、見やすいですか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
6	タブレットをつかっていて、しんぱいなことがありますか	1 はい 2 いいえ 3 わからない
7	6で、「しんぱいなことがある (はい)」と答えた人は、わけを書いてください。	

ありがとうございました。

文京区教育委員会

## 中学校 タブレットを使った授業についてのアンケート

このアンケートは、第九中学校のみなさんが、タブレットを使った学習について、どのように考えているのかを知るために行うものです。テストではありませんので、あなたが思っていることをそのまま答えてください。

\_\_\_\_\_年

	質問	どれかひとつに○をつけてください
1	タブレットやパソコンを、家でもよく使っていますか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
2	タブレットをつかった授業は、楽しいですか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
3	タブレットをつかった授業は、わかりやすいですか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
4	タブレットを使ってから、できるようになったことがふえましたか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
5	タブレットは、見やすいですか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
6	タブレットを使っていて、しんぱいなことがありますか。	1 はい 2 いいえ 3 わからない
7	※質問6で、「しんぱいなことがある（はい）」と答えた人は、その理由を書いてください。	

ありがとうございました。

文京区教育委員会

「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート①（教員用）

☆モデル事業にご協力ありがとうございます。タブレット端末を活用した教育効果や課題を検証するための資料として、アンケート調査を実施させていただきます。御協力よろしく願いいたします。

☆各項目にそれぞれ該当する番号に○を付けてください。

学校名 \_\_\_\_\_ 学校 \_\_\_\_\_

	タブレット端末の活用の効果に関する項目	1	2	3	4	5
		とても 思う	少し 思う	あまり 思 わ な い	ま っ た く 思 わ な い	わ か ら な い
1	タブレット端末は、児童・生徒の学習意欲を高めるために効果的だと思いますか	1	2	3	4	5
2	タブレット端末は、児童・生徒の学習への理解を深めるために効果的だと思いますか	1	2	3	4	5
3	タブレット端末は、児童・生徒の表現や技能を高めるために効果的だと思いますか	1	2	3	4	5
4	タブレット端末は、児童・生徒の思考を深めたり広げたりするために効果的だと思いますか	1	2	3	4	5
5	児童・生徒用タブレット端末を利用するための教材等の準備は、負担ではないと思いますか	1	2	3	4	5
6	児童・生徒用タブレット端末のシステムを立ち上げるのは、負担ではないと思いますか	1	2	3	4	5
7	授業終了後に児童・生徒用タブレット端末を片付けるのは負担ではないと思いますか	1	2	3	4	5
8	これまで授業中での児童・生徒用タブレット端末の活用頻度	1 ほぼ毎日 2 週に1～3回 3 月に1～3回 4 まったく活用しない				
9	これまで授業中での教師用タブレット端末の活用頻度	1 ほぼ毎日 2 週に1～3回 3 月に1～3回 4 まったく活用しない				
10	タブレット端末の活用に関する意見、現在困っていることなど					



「タブレット端末を活用したICT教育モデル事業」に関わるアンケート②（教員用）  
 ～ICTを活用した教育の効果（教員のICT活用指導能力）に関する項目～

学校名 \_\_\_\_\_ 学校 \_\_\_\_\_

※各項目にそれぞれ該当する番号に○を付けてください。

文部科学省 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 「教員のICT活用指導力」調査項目と同一です。		4	3	2	1
		わり に で き る	や や で き る	あ ま り で き な い	ほ と ん ど で き な い
A 教材研究・指導の準備・ 評価などにICTを活用 する能力	A-1 教育効果をあげるには、どの場面にどのよ うにしてコンピュータやインターネットを利用す ればよいかを計画する。	4	3	2	1
	A-2 授業で使う教材や資料などを集めるため に、インターネットやCD-ROMなどを活用す る。	4	3	2	1
	A-3 授業に必要なプリントや提示資料を作成 するために、ワープロソフトやプレゼンテーショ ンソフトなどを活用する。	4	3	2	1
	A-4 評価を充実させるために、コンピュータや デジタルカメラなどを活用して児童の作品・学習状 況・成績などを管理し集計する。	4	3	2	1
B 授業中にICTを活用 し指導する能力	B-1 学習に対する児童の興味・関心を高めるた めに、コンピュータや提示装置などを活用して資料 などを効果的に提示する。	4	3	2	1
	B-2 児童一人一人に課題を明確につかませる ために、コンピュータや提示装置などを活用して資 料などを効果的に提示する。	4	3	2	1
	B-3 わかりやすく説明したり、児童の思考や理 解を深めたりするために、コンピュータや提示装置 などを活用して資料などを効果的に提示する。	4	3	2	1
	B-4 学習内容をまとめる際に児童の知識の定 着を図るために、コンピュータや提示装置などを活 用して資料などをわかりやすく提示する。	4	3	2	1

C 児童・生徒のICT活用 を指導する能力	C-1 児童がコンピュータやインターネットを活用して、情報を収集したり選択したりできるように指導する。	4 3 2 1
	C-2 児童が自分の考えをワープロソフトで文章をまとめたり調べたりしたことを表計算ソフトで表や図などにまとめたりすることを指導する。	4 3 2 1
	C-3 児童がコンピュータやプレゼンテーションソフトなどを活用して、わかりやすく発表したり表現したりできるように指導する。	4 3 2 1
	C-4 児童が学習用ソフトやインターネットなどを活用して、繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図れるように指導する。	4 3 2 1
D 情報モラルなどを指導 する能力	D-1 児童が発信する情報や情報社会での行動に責任を持ち、相手のことを考えた情報のやりとりができるように指導する。	4 3 2 1
	D-2 児童が情報社会の一員としてルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。	4 3 2 1
	D-3 児童がインターネットなどを利用する際に、情報の正しさや安全性などを理解し、健康面に気をつけて活用できるように指導する。	4 3 2 1
	D-4 児童がパスワードや自他の情報の大切さなど、情報セキュリティの基本的な知識を身に付けることができるように指導する。	4 3 2 1

☆ ご協力ありがとうございました。

文京区教育委員会